



盛岡・紫波地区環境施設組合 清掃センター



盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター

〒028-3603 岩手県紫波郡矢巾町大字西徳田第12地割168番地2
Tel. 019-697-3835 Fax. 019-697-3716



施設の特長

1. 高温ガス化直接溶融炉

ごみを一気にガス化・溶融して、無公害・再資源化が可能なスラグとメタルに変えます。高温ガス化溶融炉は「資源循環型社会」の実現を目指します。

2. 環境対策

ごみを高温ガス化溶融する事で有害物質の発生を防ぎます。さらに燃焼ガスは、消石灰・活性炭吹込、バグフィルタ、DXN除去触媒反応によりクリーンな排ガスを実現しています。また、燃焼ガス中の飛灰は、重金属安定化固化処理により安全な飛灰処理を実現しています。

3. 熱の有効利用

ボイラで作られた蒸気を利用して高効率の発電(2,080kW)を行い、施設内の電力をまかないます。更に余熱については、施設内の温水給湯・冷暖房・ロードヒーティングや余熱利用施設で有効に利用されます。

4. 再資源化

「リサイクルコンポストセンター」や「不燃物処理資源化設備」を備え、生ごみや缶・びん・その他紙製容器包装・その他プラスチック製容器包装をリサイクルすると共に、ごみを溶融したあとに発生するスラグやメタルを再利用しています。

5. 旧ごみ焼却施設建屋を有効利用

平成14年に稼働停止した旧ごみ焼却施設の内部だけを解体撤去し、建屋をそのまま活かした跡地を利用して容器包装リサイクル推進施設を整備しました。

施設の概要

名 称：盛岡・紫波地区環境施設組合 清掃センター
所 在 地：岩手県紫波郡矢巾町大字西徳田第12地割168番地2
敷地面積：約45,000m²

ごみ焼却施設

処理方式：高温ガス化直接溶融炉
処理能力：160t/日(80t/日×2炉)
竣 工：2003年 3月
事 業 費：92億4,000万円(ごみ焼却施設)
3億5,999万3千円(附帯施設)

その他の施設

不燃物資源化設備
処理能力：20t/日

リサイクルコンポストセンター
処理能力：20t/日

容器包装リサイクル推進施設

設 備 形 式：選別方式及び圧縮・梱包方式
処 理 能 力：30 t / 日(5h)
その他紙製容器包装
12 t / 日(5h)
その他プラスチック製容器包装
18 t / 日(5h)
竣 工：2010年7月
総 事 業 費：1,185,765 千円



ごみ処理施設



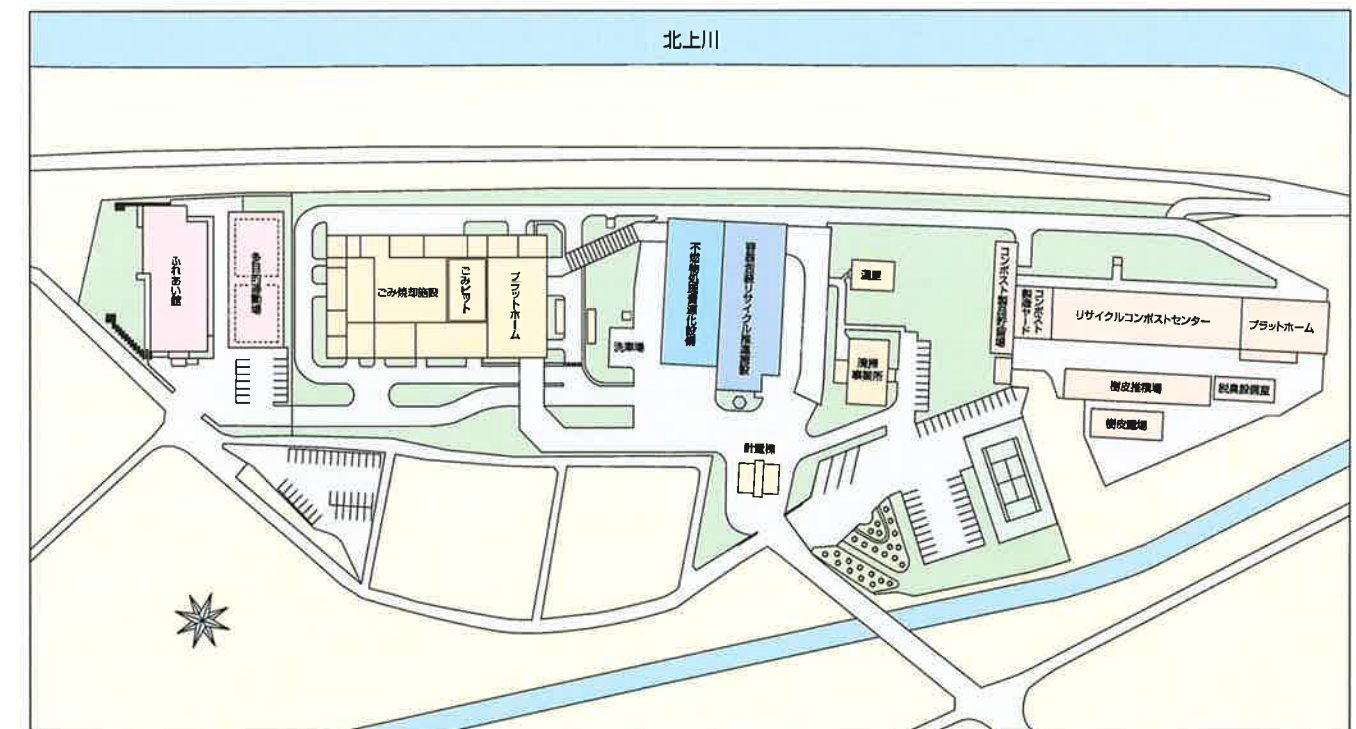
不燃物処理資源化設備



容器包装リサイクル推進施設

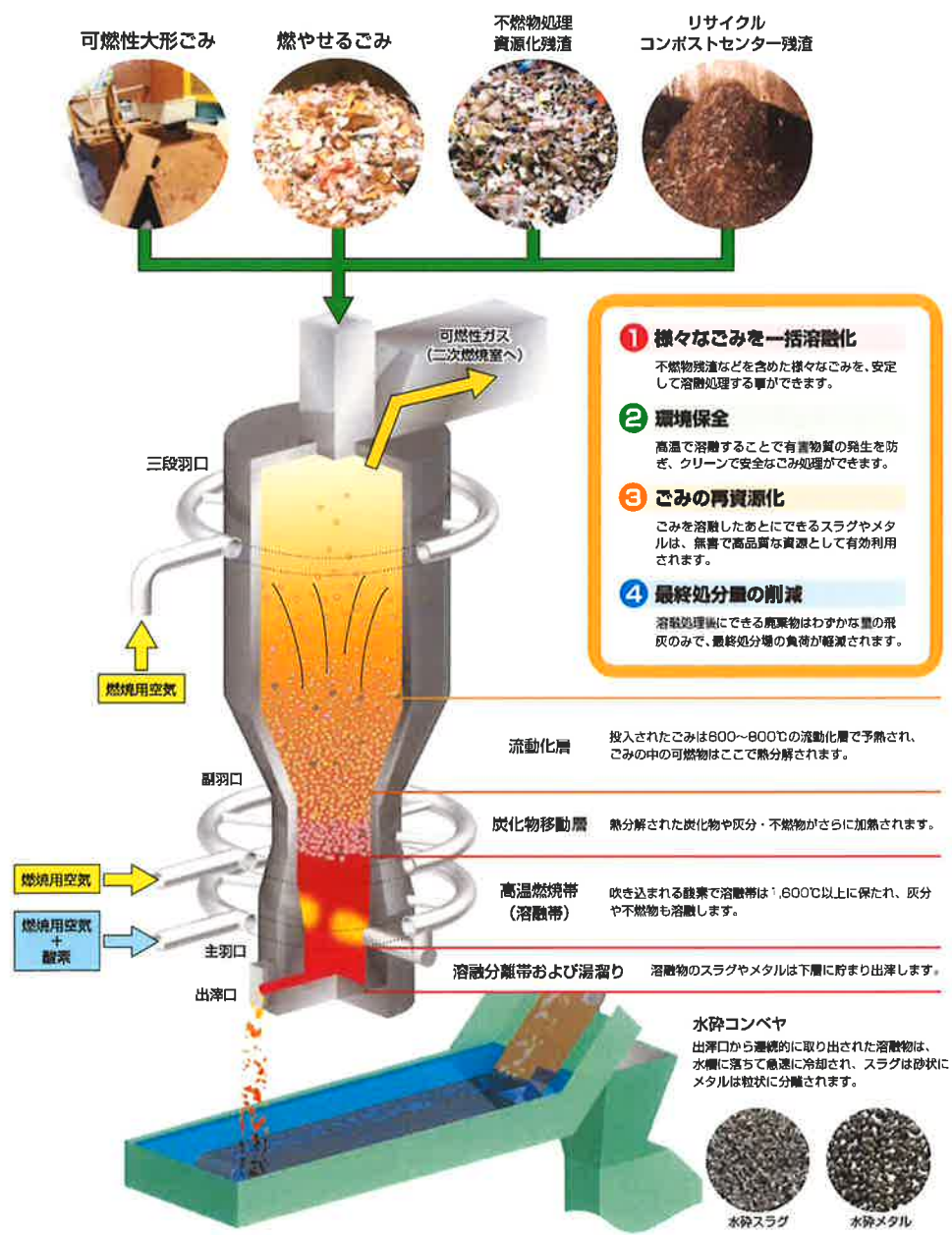


リサイクルコンポストセンター



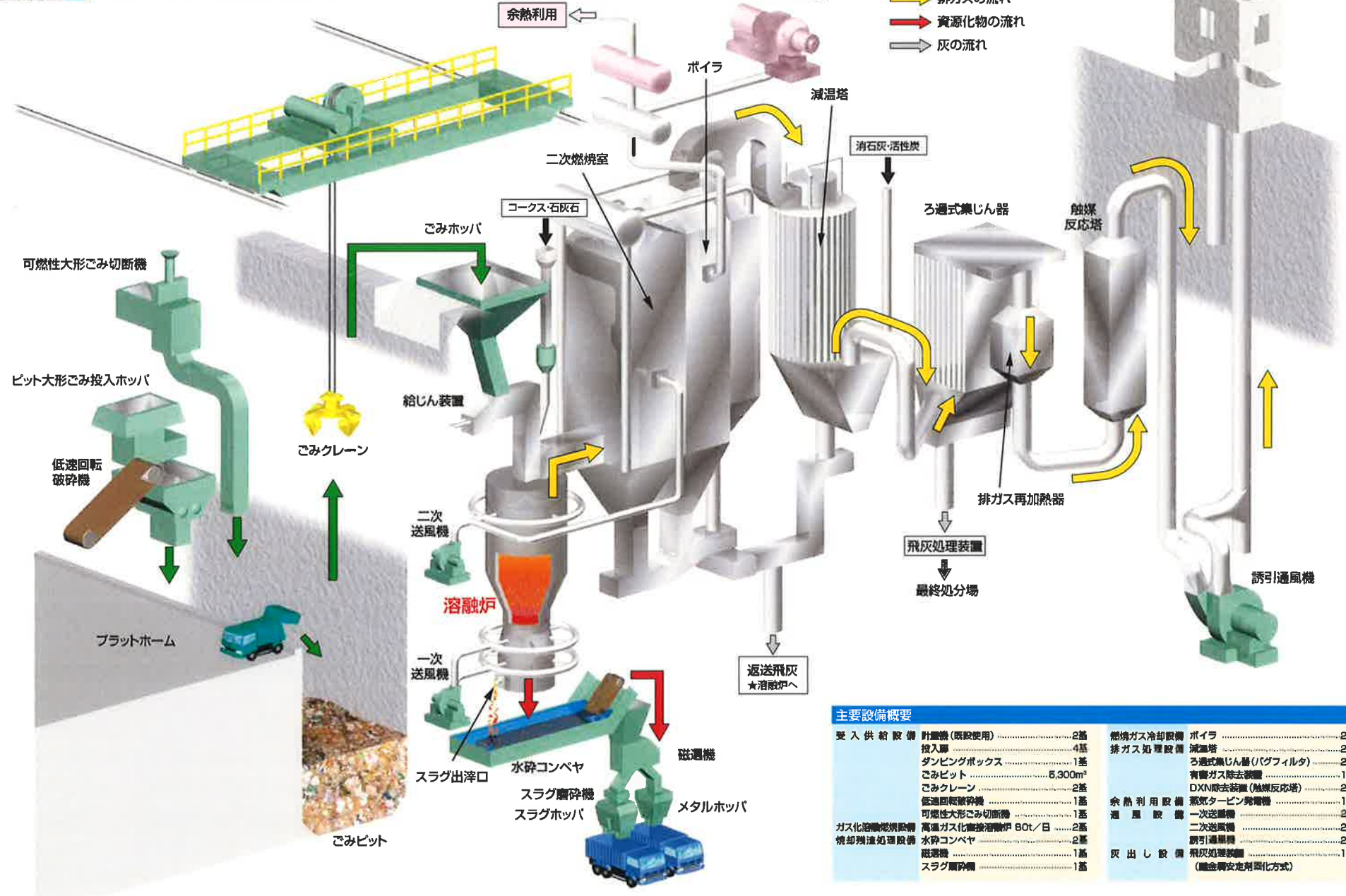


ガス化溶融炉の特長としくみ



ゼロエミッションを目指して

ごみを一気に溶融して資源に変えます。



ごみ焼却施設の紹介

受入供給設備



計量棟
ごみの搬入量を計量し、自動的に集計・記録します。



プラットフォーム
搬入庫は、ここからごみピットへごみを投入します。可燃性大形ごみは、切断機または破砕機で小さくしてからごみピットへ投入します。



可燃性大形ごみ切断機と低速回転破砕機
大形ごみを溶融炉に投入できる大きさにします。



ごみピットとごみクレーン
ピットには約4日分のごみを貯留でき、ごみはクレーンによって溶融炉に投入されます。

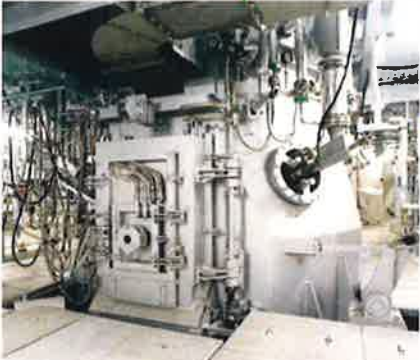
溶融炉へ



中央制御室
溶融炉や各設備の運転・制御・監視を、ここで集中的に行います。

ガス化溶融燃焼設備

ごみピットより



ガス化溶融炉
ごみはガスと灰分に熱分解し、1,800℃以上の高温で一気に溶融します。

出滓状況
連続的に炉内から溶融物を取り出します。



再資源化



溶融メタル



水砕スラグ



金属精錬還元剤



アスファルト混合剤

燃焼ガス冷却設備



ボイラ
燃焼室で発生した高温ガスを利用して、高圧蒸気を生産させます。

排ガス処理設備



消石灰・活性炭吹込装置
排ガス中に消石灰と活性炭を吹き込み有害物質を除去します。



ろ過式集じん器（バグフィルタ）
ばいじんや有害物質を取り除き、クリーンな排ガスにします。



触媒反応塔
ダイオキシンを分解除去します。

煙突

余熱利用設備



蒸気タービン発電機
蒸気でタービン発電機を回し2,080kWの発電を行います。

その他の余熱利用



ふれあい館内部



浴室



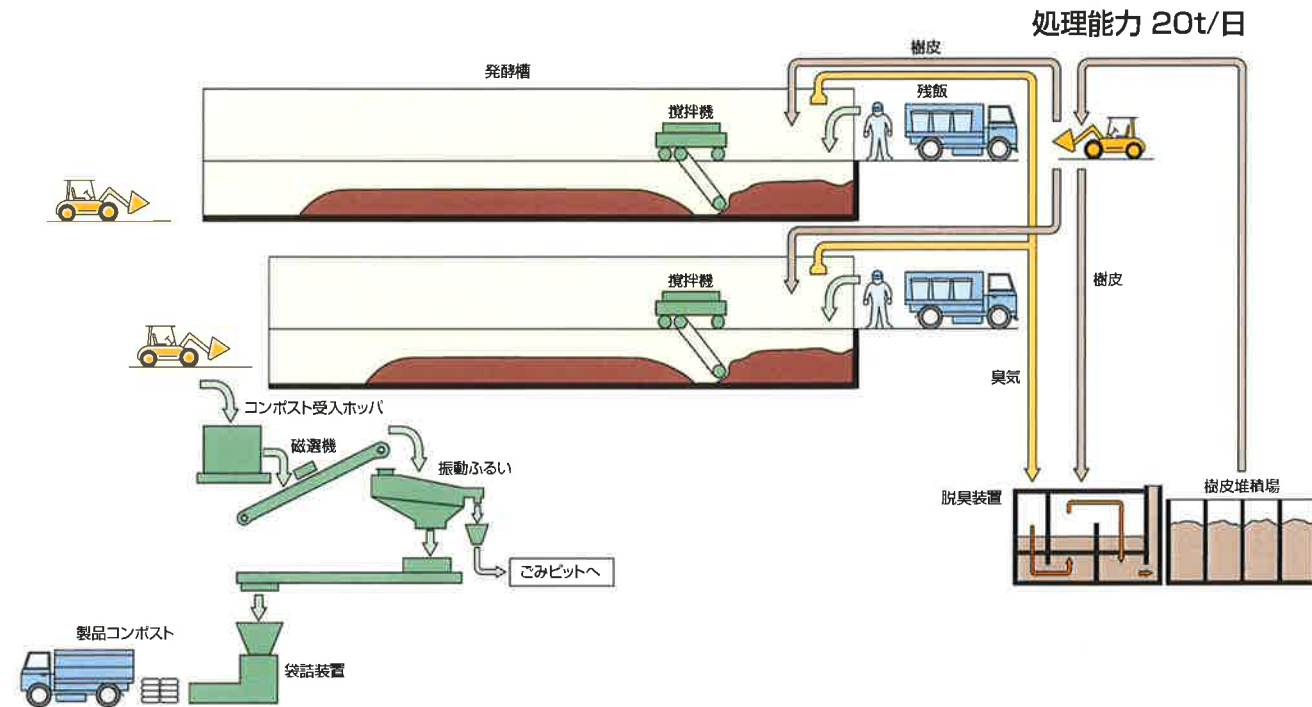
ふれあい館と多目的運動場

蒸気を施設内の温水給湯・冷暖房・ロードヒーティング等に使用します。



リサイクルコンポストセンター

生ごみを醗酵・成熟させ、堆肥化してコンポスト製品としてリサイクルします。



バケツコンテナ収集

各家庭から出される残飯は、各集積所に配置されたバケツコンテナにより収集されます。



後処理

十分に、醗酵・熟成した堆肥化物は、篩い分け装置により、不純物を取り除きます。



発酵槽

バケツコンテナにより収集された残飯は直接発酵槽へ投入され、樹皮(パーク)と混ぜ合わせて、30~40日間攪拌されます。



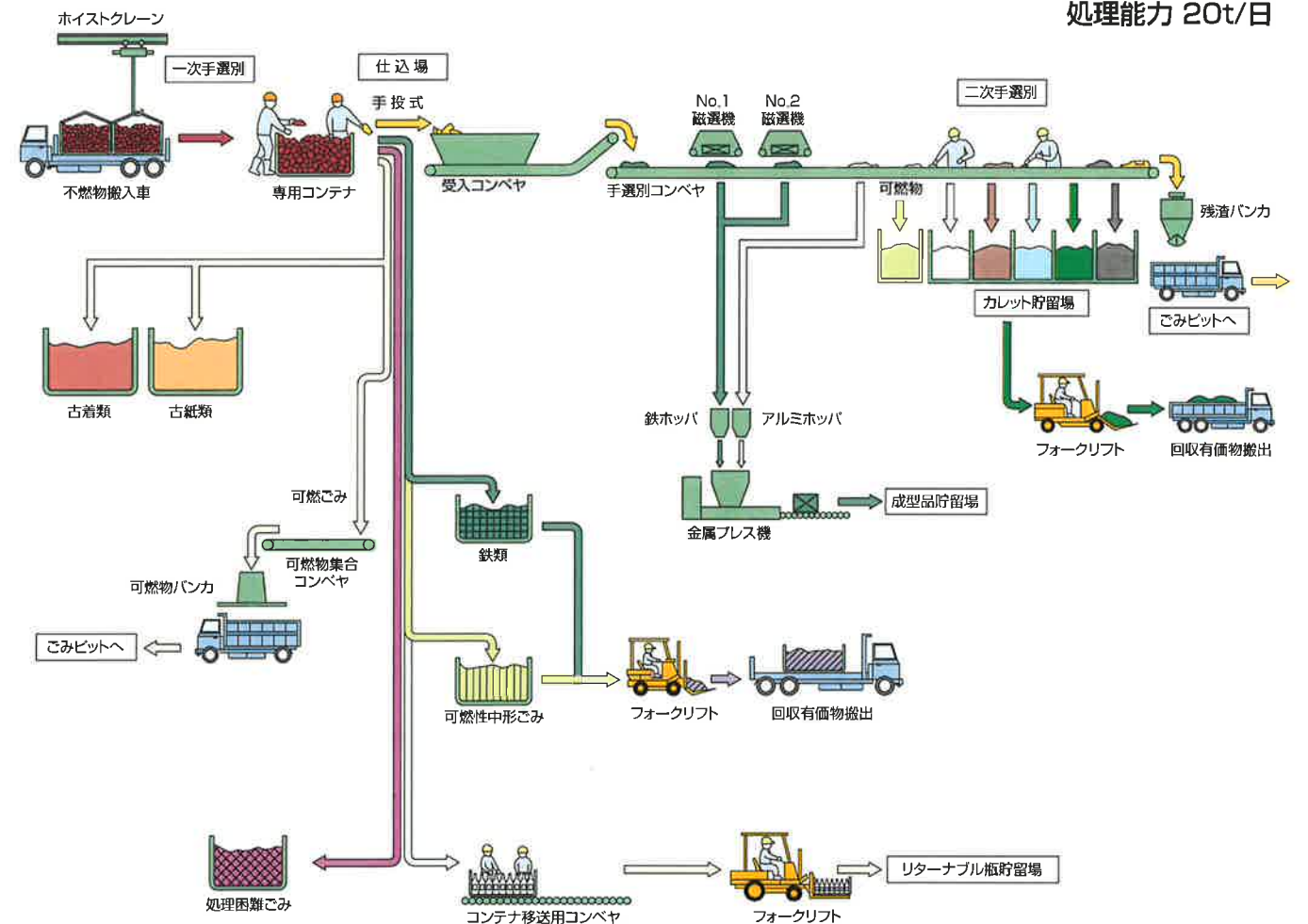
袋詰装置

できあがったコンポスト製品はきれいに袋詰めされて、貯留場にストックされます。



不燃物処理資源化設備

缶類は鉄とアルミに選別し、びん類は色別に選別してリサイクルします。



一次手選別

専用コンテナによって搬入された資源化物は、リターナブル瓶が回収され、空缶とカレット他の3種類に選別されます。空缶とカレット他は更に磁選機によってスチール缶は金属プレスにかけられ、リターナブル瓶と同様に有価物となります。



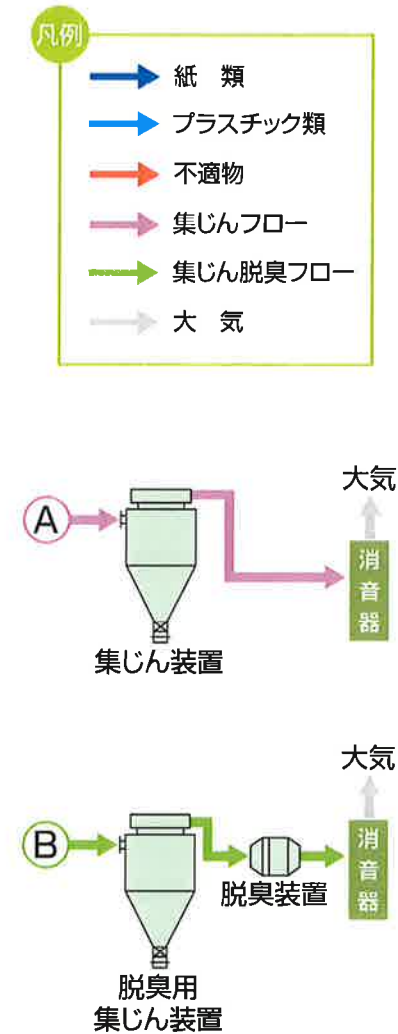
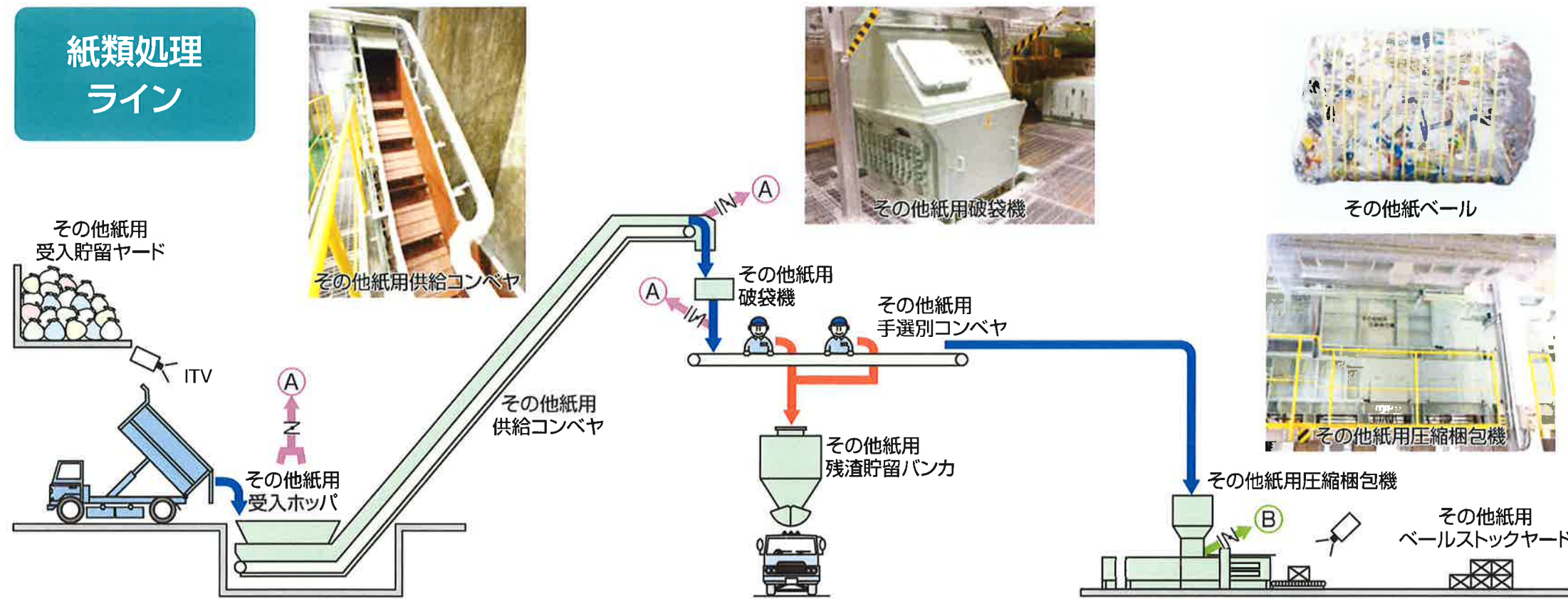
二次手選別

アルミ缶・カレットは、ここで選別され、アルミ缶は金属プレスにかけられます。カレットは色別にカレットビッドに貯留し有価物として回収されます。

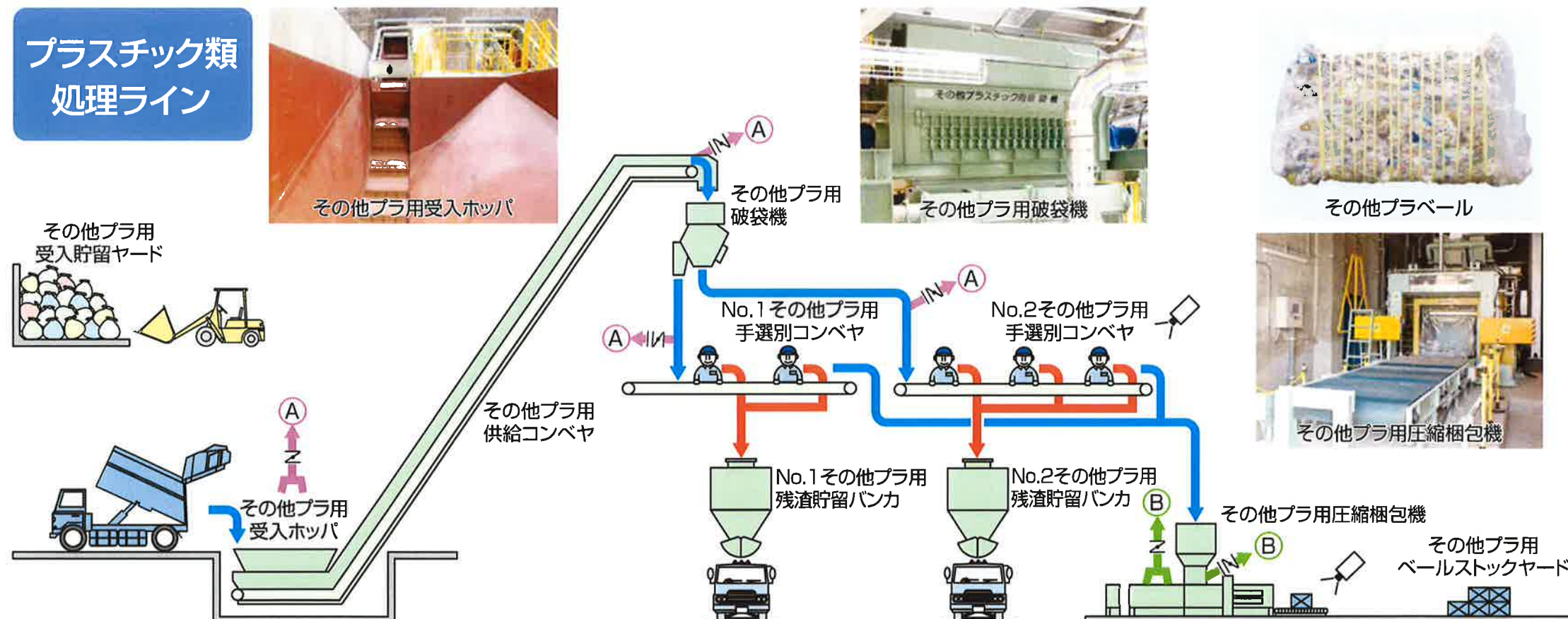


容器包装リサイクル推進施設

紙類処理ライン



プラスチック類処理ライン



ストックヤード棟



ストックヤード棟

